

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	放課後等デイサービス N style				公表日	令和8年 3月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	10	0	1階と2階に部屋があり、宿題をしたり、静かに過ごしたい利用者のために分けることができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	その日の利用人数に合わせて職員の数を調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5	1階と2階で用途が分けられている。生活空間については予定を提示する等見通しが持てるような配慮がなされている。	階段の明るさが子どもにとって、暗いと感じる時があると思われる。車いすを受け入れるようなバリアフリー化はできていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日掃除を行い清潔を保ち、定期的に子どもたちが使用するものの整理、点検もしている。チェック表も活用しながらもれなく行っている。土曜日は子どもたちも一緒に行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	相談事や面接練習等職員室で行っている。体調不良、パニックになった際、落ち着ける場所は確保できている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	パピ会、ママ会等でも、意見を聞き業務改善の参考にしている。保護者会等で評価表の結果を報告し、意見のやり取りをしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎月のミーティングでは各自が意見を言いやすい環境である。申し送りノートにも記入し周知している。新人スタッフとの面談あり。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	8		今後検討します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	子ども支部会等で研修を受講。年に3回ほどは必ず受講している。年間の研修予定を立てそれに沿って行っている。また職員が希望する研修へも参加できている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	ホームページ等に公表し周知に努めている。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	半年に1回、モニタリングの際保護者に意見を聞き計画に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	個別支援ミーティング等を開き、利用時の問題点を等を把握し児発管と情報共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	申し送り等で計画ができた際には共有され、職員が確認できるようになっている。放課後等デイサービス計画をもとに個別の支援内容を個別支援会議で話し合っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	アセスメントシートやモニタリングで保護者に再アセスメントを行っている決められたフォーマットに沿ってアセスメントを行っている。インフォーマルなアセスメントについては状況に応じ保護者から情報収集を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	月に1度会議で行事などの計画を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	月に1度会議をしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	子どもたちの変化に対応しその都度計画に反映させている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	受け入れミーティングを行い子どもたちの最近の様子を確認し留意する点を共有している。報連相を大切にしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	情報共有などを行っている。早く帰宅する職員や休みの職員のために申し送りノートがある。	支援終了後に振り返りはできていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	特記欄に気付いたことや注意しておくことなど記入している。個別目標が達成できたか記録に残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に1回必ず行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	スケジュール帳の記入やディスカッション等で自己選択の機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	夏に担当者会議や、ケース会議を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6		高学年からの受け入れが多いため園とは情報共有できていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	必要に応じて学校等にお話している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	岡山市立の高校との交流ありボランティアの受け入れをし、交流できている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	0	子ども支援部会に参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時やLINE、記録、引継ぎノート等を活用し、伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3		今後もNcafe内でのディスカッション体験や、研修会のご案内をさせていただきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	契約時、年一度の保護者会で説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	モニタリング時に行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	月に1度、Ncafe実施。家族からの相談は管理者をはじめ、担当職員が助言と支援などを行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	0	ママ会、パパ会、保護者会を年に1回交流が促進されるよう行っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	契約書に苦情窓口を設けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	N style通信を発行し活動の様子や活動予定について発信している。	インスタグラムの更新ができていないので、今後頑張ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	地域の清掃活動は行いました。Ncafeの開催。	今後地域の方を招待するようなイベントをしていきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	年4回行っている。静養室に掲示されている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	年4回（火災、地震、水害、不審者）行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1	服薬、てんかん等確認している。	予防接種までは把握していない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3		医師の指示書まではないが、アレルギーに関しては注意している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	担当者や全体で研修をし、確認している。安全管理チェックを月に一度行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	保護者会にて周知。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	会議で情報共有し、今後の対策も検討している。ヒヤリハットが発生した時点で記入を行い、全職員で共有している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止研修を内部、外部で受講している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	身体拘束の報告書を作成して、小さなことでも記入している。		